

## 令和元年度第1回一宮町総合教育会議における意見交換概要

1. 日 時 令和元年8月21日（水）午前11時00分から正午
2. 場 所 保健センター 1階集団指導室
3. 出席者 馬淵町長、藍野教育長（委員）、  
渡邊教育長職務代理人（委員）、  
中村教育委員（委員）、伊木教育委員（委員）、  
小高教育委員（委員）

### 4. 報告事項

#### (1) 町内の不審者に対する対応について

事務局： それでは、町内の不審者に対する対応について これまでの経緯をご報告いたします。

今年度の不審者情報は、今現在22件、そのうち茂原市は14件、一宮町は1件です。ちなみに昨年度の一宮町同時期には12件の不審者情報がございました。

昨年度、町といたしましては、児童生徒の下校時の安全確保対策について、不審者が多発している状況を踏まえ、学校の協力の下、各児童生徒の家庭と通学路を町全体の地図に落とし、見守り体制の整備や危険箇所の把握、学校では保護者に案内を送り、職員によるパトロールと併せて、小学校では、下校時の児童引き渡しを、中学校では部活動の短縮と家庭到着時の学校への連絡を行いました。

更に、一宮交通安全協会のパトロール活動や、警察の協力による移動交番の配置などの対策により、不審者情報などが減ったことから、小学校では、引き渡しによる下校から、お迎えによる下校に変更しました。

引き渡しを解除した後も、小学校では、迎えに来られずに学校で待機を余儀なくされる児童がおり、委員会活動や部活動を制限しなければならないこともあり、また迎えにかかる家庭の負担も大きいことから、教職員等によるパトロールと併せて、地域の保護者同士が協力して、集団下校できるよう保護者へ協力を依頼し、集合場所までの集団下校

と集合場所までのお迎えに変更しました。

また、中学校では授業時間を短縮し部活動の時間を確保するとともに下校時刻を早める対策をとりました。

町では、地域団体の皆様や学校、PTAのお力をお借りし、子ども達の安全な登下校を見守っていただくため、防犯ベストを作成しお配りしました。毎日の登下校時や、普段の散歩やご近所へ出かける際に着用していただき、子ども達を見守っていただいております。また、自動車に貼る「防犯パトロール中」のマグネットも作成いたしました。こちらも、ご協力いただけるPTAや各学校、学園などにお配りし、お迎え時や外出の際にパトロールをお願いしております。さらに、「こども110番」のステッカーを作成し、通学路沿いのご家庭や店舗に協力いただき、見える場所に貼ってもらい、もしものときには子ども達が助けを求められるようお願いしています。

これらの対策を始めてから、幸いにも町内での不審者情報はありませんでしたので、大変な効果があったということは言えるのではないかと思います。

現在、東浪見小学校では、子どもを1人にさせないということを前提に、2人以上複数での下校を実施しており、また、一宮小学校は、解散場所までの集団下校と、できるだけ1人にならないように保護者の皆様の解散場所へのお迎えや見守りにご協力をいただいております。

一宮中学校は、今まで同様、集団下校を実施し、部活ごとに複数での下校にご協力をいただいております。

町でも下校時刻に合わせ、青パトによるパトロールを実施しております。

現在の取り組みにしてから今のところ大きな問題は生じておりません。

教育長：各学校長にききとりをしましたのでご報告いたします。

東浪見小・・・高学年に兄弟がいる場合、部活が終わると兄弟一緒に帰れるシステム。

低学年が上の子を待っていると別の友達の親が迎えにきたついでに一緒に帰ることもある。連れて帰った場合、必ず学校に連絡をくれるのでとてもよい体制になってきている。

一宮小・・・方面別に集合場所まで教職員と決まった場所まで下校し、保護者と一緒に帰るシステム。両親が仕事の場合、おじ

いちゃん、おばあちゃんのお迎えやお友達のお母さんと一緒に帰るなど、大人の数も増え地域の協力で下校できているようである。また、図書室待機児童は、一宮小は先生が目が見えない、図書室に教員がはりついていなくてはならない。パトロールもありシフトを組んで動いているが勤務時間を超過し働いている。更には自分の車で動いてくれているので教員のパトロールについても経費（燃料費）の問題がある。

一宮中：部活単位で動き、部活単位で下校している。明るいうちに下校しているので問題はないようである。

○以下のとおり意見交換を行った。

町長：不審者情報のまとめをみると一宮町は有意な減少である。昨年の状況を受け体制をつくって対応したことが子ども達への直接的接近を妨げる効果を上げている。

伊木委員：小学校の図書室待機児童は、16時30分までとのことですが16時30分を超えて迎えにくる場合はあるのですか。

教育長：16時30分というのは職員の勤務時間です。子どもが残っていれば職員も当然残っていなければならない。

今年度に入ってから、16時30分を超える児童は減少し学童保育利用が増加しています。

小高委員：防犯カメラは、県の補助もある。色々な意味で(不審者・車)抑止効果があると思うのでできれば多く設置できるとよい。

町長：町の防犯カメラの設置台数は非常に少ないです。一度に設置はできないので少しずつ増やしていく予定です。

中村委員：電信柱に警察官が見ているような姿のものがあるがあれだけでも効果があると思う。

また、市街地で塾帰りの子どもの一人歩きを目にすることもある。

渡邊委員：不審者の件で、現行のやり方で定着してるので継続していくということでしたが、一時、保護者から大変だという声もあがっていた。

町長：保護者にアンケートした際、負担といった声も確かにあったが元に戻すと危険性がある為、あるレベルの警戒が必要である。そして、だいぶ日常化してきている部分もあるので再度、地域の方々に見守りのお手伝いのお願いをしなくてはならないと考えています。

中村委員：昼間は、防災無線で子ども達の下校時刻を放送しているので住民にも意識付けがされている。

町長：本日は、貴重なお話を賜りありがとうございました。町長部局としても皆様からおっしゃっていただきました防犯カメラ、そして遅い時間

の子ども一人歩きについて見守りのお気持ちをもっていただくということに積極的に取り組ませていただくということで全体としては、本年度、この形で進ませていただきたいと思います。

2) その他  
特になし。

以上